

* * *

次号の特集予告

288 巻 1 号 (2024 年 1 月 6 日発行)

【第 1 土曜特集】

自然リンパ球の生理と病理

企画：茂呂和世 (大阪大学大学院医学系研究科感染症・免疫学講座生体防御学)

- ・ 1 型自然リンパ球 (ILC1), 2 型自然リンパ球 (ILC2), 3 型自然リンパ球 (ILC3) の 3 つのサブセットがそれぞれ独自に同定・研究され, 最終的に自然リンパ球 (ILC) という分野が創出されてから 10 余年が経過した.
- ・ ILC の組織常在性は広く認識されるようになり, 着目する ILC が存在する組織, 微小環境ごとの解析が行われることで, ユニークな表現型や反応性を持つ ILC が次々と報告されている.
- ・ 欧米と比較すると日本は ILC 研究者が少ないといわれてきた. ILC 研究に携わるオールジャパンの研究者が本特集に集い, ILC の基礎とユニークさを伝えるきっかけになれば幸いである.